

1) 哺乳類

これまでの調査によって、哺乳類の出現種としては、ジネズミ、ヒミズ、コウベモグラ、コウモリ類、ニホンザル、ノウサギ、ニホンリス、ムササビ、カヤネズミ、アカネズミ、ヒメネズミ、アライグマ (外来種)、タヌキ、キツネ、テン、イタチ、アナグマ、ハクビシン (外来種)、イノシシ、ニホンジカ、カモシカの7目14科21種を記録しています (表4.2.1)。このうち、ニホンザルはハナレザルが希に出没する程度で、田代地区で見かけることは殆どありません。一方、ニホンジカやカモシカは調査当初は確認されていませんでしたが、2004年以降、田代でも出現が確認されるようになった種です。ニホンジカは調整池周辺や谷部などで足跡や食痕が多く確認されています。また、カモシカは数頭が確認されています。イノシシは調査開始の1996年から2022年の現在まで全域にわたって広く確認され、沢部を中心に足跡やヌタ場⁹、泥こすり跡などの生息痕が多く確認されています。このほか外来種のアライグマが2016年に調整池で足跡が確認されました。

埋め立て前と後の変化は種数では大きな変化は見られませんが、谷底平野を中心におおむね5カ所あった沢部が3カ所消失したため、哺乳類にとっての生息環境が大きく変わりました (図4.2.3)。そのため、移動路の分断や生息環境の縮小などが考えられます。特に行動範囲の狭いネズミ類などの小型哺乳類への影響は大きかったと考えられます。ただし、カヤネズミなどは埋め立て後、長大のり面の緑地で巣が確認されています。

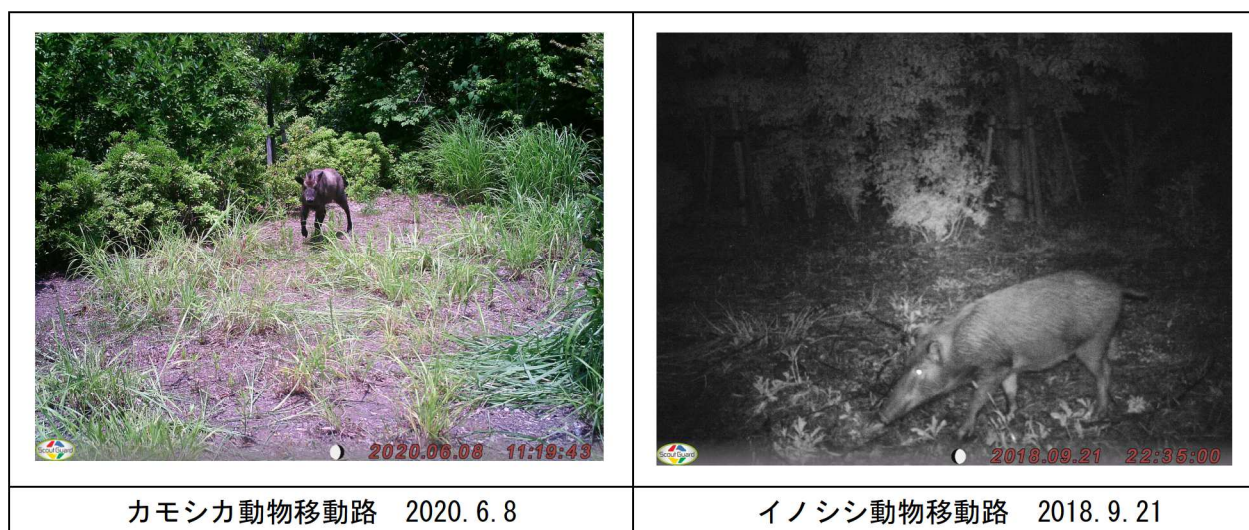


写真 4.2.1.1 田代地区で確認された哺乳類 (自動撮影時カメラ)

⁹ ヌタ場：イノシシやシカなどが、泥を浴びる場所。体を冷やすためや体に付いたダニなどの寄生虫落とすためなどと言われている。田代地区では沢沿いなどに見られる。



イノシシの頭骨 田代
2013. 10. 8



ニホンジカ 調整池
2019. 6. 13



アナグマ ソーラパネル際
2020. 5. 01



ニホンリスの食痕 (アカマツ球果) 田代
2013. 6. 7



カヤネズミの巣 長大のり面
2016. 6. 26



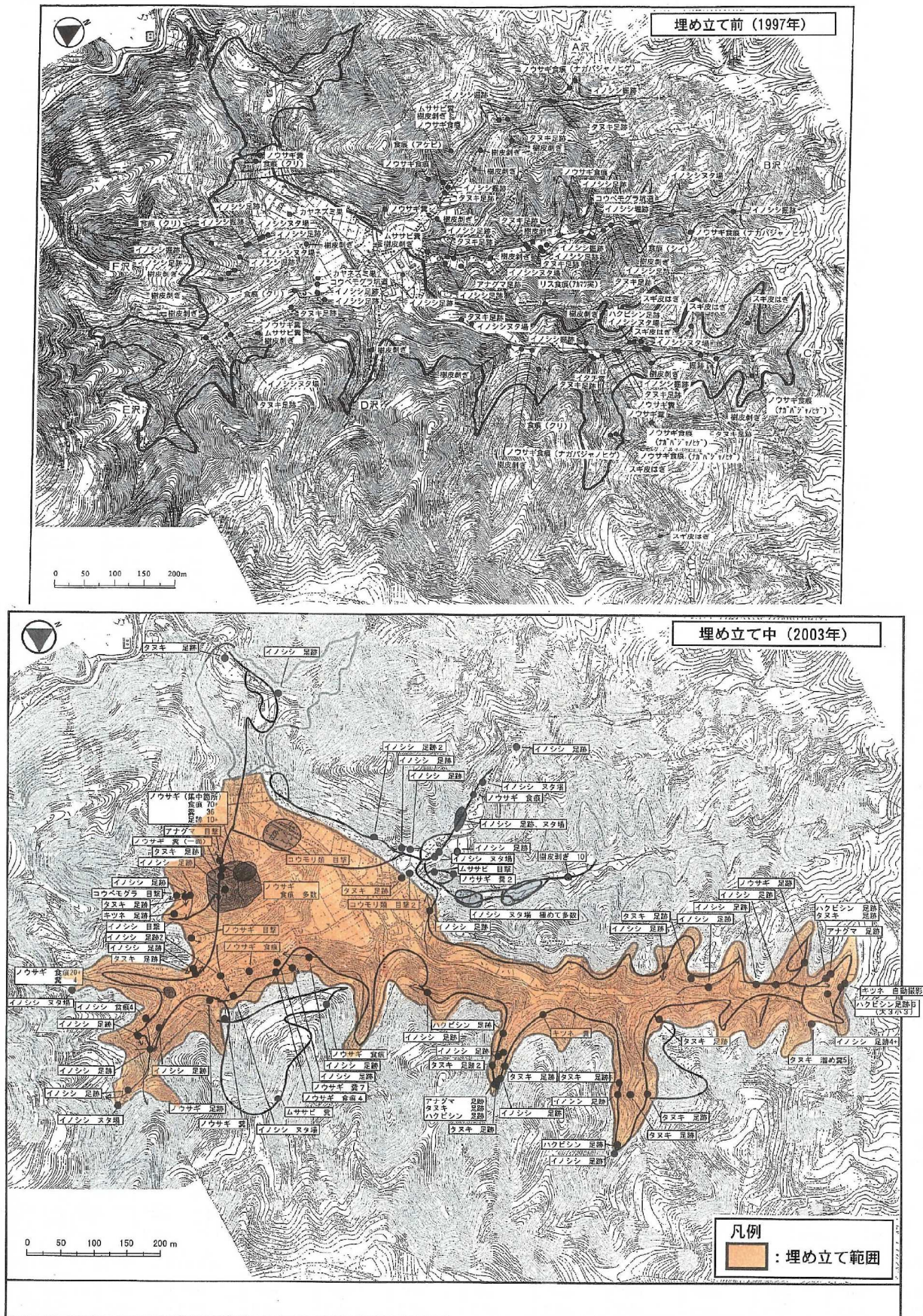
アライグマの足跡 調整池
2016. 12. 26

写真 4. 2. 1. 2 田代地区で確認された哺乳類

表 4.2.1 哺乳類の出現種一覧

目	科	種	過年度確認種（1997年まで）		確認種（2003年以降）		
			出現種		確認内容	出現種	確認内容
			田代	周辺域	田代	田代	田代
モグラ	トガリネズミ	ジネズミ <i>Crocidura dsinezumi</i>		●			
	モグラ	ヒミズ <i>Urotrichus talpoides</i>	●	●	捕獲		
		コウベモグラ <i>Mogera robusta</i>	●	●	坑道	●	目撃
コウモリ	コウモリ類	コウモリ類 <i>CHIROPTERA</i>				●	目撃
サル	オナガザル	ニホンザル <i>Macaca fuscata</i>	●	●	聞き取り		
ウサギ	ウサギ	ノウサギ <i>Lepus brachurus</i>	●	●	糞、食痕	●	目撃、自動撮影、糞、食痕、足跡
ネズミ	リス	ニホンリス <i>Sciurus lis</i>	●	●	食痕	●	食痕
		ムササビ <i>Petaurista leucogenys</i>	●	●	糞	●	目撃、糞
	ネズミ	カヤネズミ <i>Micromys minutus</i>	●	●	巣	●	巣
		アカネズミ <i>Apodemus speciosus</i>	●	●	捕獲		
		ヒメネズミ <i>Apodemus argenteus</i>	●	●	捕獲		
ネコ	アライグマ	アライグマ <i>Procyon lotor</i>				●	足跡
	イヌ	タヌキ <i>Nyctereutes procyonoides</i>	●	●	足跡	●	自動撮影、足跡、糞
		キツネ <i>Vulpes vulpes</i>	●	●	聞き取り	●	自動撮影、糞、足跡
	イタチ	テン <i>Martes melampus</i>		●		●	糞
		イタチ <i>Mustela itatsi</i>	●	●	糞	●	自動撮影、糞
		アナグマ <i>Meles meles</i>	●	●	足跡	●	目撃、自動撮影、足跡
ジャコウネコ	ハクビシン <i>Paguma larvata</i>	●	●	足跡	●	自動撮影、足跡、糞	
ウシ	イノシシ	イノシシ <i>Sus scrofa</i>	●	●	足跡、掘り痕、又夕場	●	目撃、自動撮影、足跡、又夕場、掘り痕、食痕
	シカ	ニホンジカ <i>Cervus nippon</i>				●	目撃、自動撮影、足跡、又夕場、掘り痕、食痕
	ウシ	カモシカ <i>Capricornis crispus</i>				●	目撃、自動撮影
7目	14科	21種	15種	17種		16種	

注：種名、学名、配列等は阿部永（監修）「日本の哺乳類」（1997年：第2版）によった。
1997年に比べ2003年以降の調査精度は低く、小型哺乳類の捕獲調査も実施していない。



注) 1997年および2003年の調査精度が異なるため厳密な比較はできない。

図 4.2.3 埋め立て前 (1997 年) と埋め立て中 (2003 年) における哺乳類の確認